

～点字学習～

事前学習でユニバーサルデザインについて学習をしました。「みんなが普段生活で困っていることは何ですか？」という質問では、「高いところにあるものに手が届かない。」や「朝早く起きることが苦手。」など様々な発言が出ました。

その中で、困りごとをみんななくして、みんなが使えるものがあればいいということからユニバーサルデザイン探しをしました。残り時間が表示されてある信号や力を入れずに切れるハサミもその1つだということに気がきました。

本物体験の活動として、今回は、点字体験学習を行いました。点字について知っていたり見ていたことがあったりする児童もいれば「点字って何だろう」と全く知らない子もいました。点字を打つ道具など初めて見るものばかりで児童も興味深々でした。

点字を打つ道具を見たり、読み方、打ち方について教わったりと初めてのことばかりで児童は興味深々でした。



「打ち間違いを何度もしてしまい、もう一回」と打ち直す児童もいて、点字の難しさを実感していました。それと同時に自分の名前や学校名を打ち、点字の楽しさも感じていました。

点字学習を振り返り、「点字が難しかった。」「目で見ているから何が書いてあるか分かるけど、目を閉じて読んで読んでみると何も分からなかった。」など多くの児童が点字の難しさを感じ、目が見えていることが当たり前ではないということに改めて気付くことができました。



貴重な1時間をいただき、中里さんをはじめ、かつしか点訳の会の皆様、本当にありがとうございました。この体験を生かし、目が見えない方にとって怖い場面や場所を考え、皆にとってよりよい生活ができるためのユニバーサルデザインの学習をさらに深めていきます。